

# 令和6年12月末の犯罪発生状況



令和7年1月20日  
(公社) 滋賀県防犯協会

滋賀県の刑法犯認知総数 8,148 件 (前年 7,771 件、前年比 4.9%の増加)

～犯罪率(人口1万人当たりの刑法犯認知件数)は全国ワースト15位～

## <罪種・手口別発生状況>

	刑法犯総数	凶悪犯					粗暴犯	窃盗犯	侵入窃盗				
		殺人	強盗	放火	不同意性交等	空き巣			忍込み	居空き	その他		
R6	8,148	86	17	8	7	54	777	4,890	471	126	66	9	270
R5	7,771	64	7	5	10	42	717	4,868	426	89	35	16	286
増減	+377	+22	+10	+3	-3	+12	+60	+22	+45	+37	+31	-7	-16

	窃盗犯							知能犯					
	乗物盗			非侵入盗				詐欺	その他	万引き	その他	忍込み	居空き
	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	置引き	車上ねらい	部品ねらい							
R6	1,541	56	110	1,375	2,878	45	263	134	1,032	1,404	1,042	992	50
R5	1,526	39	102	1,385	2,916	49	314	99	1,139	1,315	857	800	57
増減	+15	+17	+8	-10	-38	-4	-51	+35	-107	+89	+185	+192	-7

	風俗犯				その他の刑法犯			
	不同意わいせつ	公然わいせつ	わいせつ物頒布 性的姿態撮影等	住居侵入	器物損壊等	その他	住居侵入	器物損壊等
R6	263	111	22	130	1,090	173	642	275
R5	166	96	25	45	1,099	135	656	308
増減	+97	+15	-3	+85	-9	+38	-14	-33

### ○ 県内で発生する刑法犯の特徴

県内の刑法犯認知件数は、前年より 377 件 (4.9%) 増加しました。(減少を続けた刑法犯認知件数は令和4年から増加に転じています。)

罪種別には、その他の刑法犯を除き全てで増加、特に知能犯、風俗犯の増加が顕著。

手口別には、侵入窃盗の空き巣が前年の約 1.4 倍、忍込みが前年の約 1.9 倍と増加。

### ○ 無施錠率の状況 ※無施錠被害件数/全体の被害件数×100 (%)

住宅侵入窃盗 49.8% (前年-6.6ポイント)、自転車盗 73.3% (前年+3.1ポイント)、オートバイ盗 44.5% (前年+0.4ポイント)、自動車盗 26.8% (前年-19.4ポイント)、車上ねらい 56.3% (前年+4.7ポイント) となっています。住宅侵入窃盗のうち、特に忍込みについては 72.7%が無締り箇所からの被害となっています。

## <各市町の認知件数・犯罪率>

市町別	認知件数			犯罪率 県57.9	市町別	認知件数			犯罪率 県57.9	市町別	認知件数			犯罪率 県57.9
	R6	R5	増減			R6	R5	増減			R6	R5	増減	
大津市	1,967	1,927	+40	57.0	近江八幡市	420	408	+12	52.0	甲良町	39	27	+12	64.0
草津市	937	1,079	-142	63.5	竜王町	58	52	+6	51.0	多賀町	34	40	-6	47.8
栗東市	264	272	-8	38.2	日野町	139	112	+27	67.8	米原市	214	168	+46	59.3
守山市	421	393	+28	49.6	東近江市	561	537	+24	50.4	長浜市	652	720	-68	58.9
野洲市	282	206	+76	56.2	愛荘町	134	114	+20	64.8	高島市	282	230	+52	63.3
甲賀市	531	419	+112	61.1	彦根市	854	686	+168	76.0	発生地不明	45	42	+3	
湖南市	254	270	-16	47.2	豊郷町	60	69	-9	85.9					

### ○ 県内市町別の刑法犯発生状況

19市町中、13市町で前年より刑法犯認知件数が増加し、特に甲賀市、彦根市では前年より 100 件以上増加。

県の犯罪率(1万人当たりの刑法犯認知件数)は、57.9件と全国平均(59.3件)を下回ったが、前年より 2.9 件増加。

## 特殊詐欺・SNS型詐欺の発生状況

手口別	被害件数 (件)		被害金額 (万円)	
		うち高齢者		うち高齢者
オレオレ	56	34	43,289	24,728
預貯金	3	3	50	50
架空料金請求	171	55	24,468	8,589
融資保証金	9	1	320	54
還付金	25	18	2,305	1,757
金融商品	1	1	1,065	1,065
交際あっせん	2	2	585	585
その他	11	0	1,140	0
カード窃盗	3	3	519	519

### < 特殊詐欺の手口別発生状況 >

発生件数 281 件 (前年+15 件)、被害金額約 7 億 3,740 万円 (前年+約 1 億 1,312 万円) となっており、架空料金請求詐欺、オレオレ詐欺、還付金詐欺が多く発生しています。

高齢者 (65 歳以上) の被害件数は 117 件 (前年-44 件)、被害金額は約 3 億 7,346 万円 (前年-約 3,573 万円) となり、全体の件数に対する割合は 41.6%、被害額に対する割合は 50.6% を占めています。

### < SNS 型詐欺の被害件数・被害額 >

#### ○ SNS 型投資詐欺 (県内の 12 月末累計 111 件 約 9 億 8,254 万円)

著名人の名前をかたるなどして、投資すれば利益が得られるものと誤信させ、投資アプリ等に誘導するなどし、虚偽の利益を表示する方法などにより心理的安心感を与え、架空の投資を継続させながら、投資金名目やその利益の出金手数料などで金銭をだまし取るもの

#### ○ SNS 型ロマンス詐欺 (県内の 12 月末累計 141 件 約 10 億 1,468 万円)

「投資名目 123 件 約 9 億 6,590 万円」

恋愛感情や親近感を抱かせながら投資に誘導し、投資金名目やその利益の出金手数料名目などで金銭をだまし取るもの

「その他のロマンス等名目 18 件 約 4,879 万円」

恋愛感情や親近感を抱かせながら架空の事実を口実とし、交際の継続等を前提とした各種名目で金銭等をだまし取るもの

※令和 6 年 3 月から SNS を通じた投資名目の金融商品詐欺は「SNS 型投資詐欺」として計上され、特殊詐欺発生状況から除かれることとなりましたが、県内では幅広い年齢層にわたり、SNS 型投資や SNS 型ロマンス詐欺が発生しており、被害金額も高額にのぼっています。

## トクリュウ・闇バイト・詐欺・強盗 緊急対策プラン (滋賀県・滋賀県警察) 骨子

「トクリュウ」とは、「匿名・流動型犯罪グループ」の略。SNS や求人サイト等を利用して犯罪実行犯を募り、匿名性の高い通信手段を用いるなどして緩やかに結びついたメンバー同士が役割を細分化させ、その都度メンバーを入れ替えながら、強盗事件や特殊詐欺、SNS 型投資・ロマンス詐欺など様々な犯罪を敢行するもの

I. トクリュウによる犯罪から県民を守るための対策		
1.	市町、関係機関・団体、事業所等と連携した情報発信活動	犯罪発生状況の分析結果に基づいた効果的な情報発信資料 (県民が被害に遭わないためのポイントなど) を作成し、市町、関係機関・団体、事業所等と連携し、それぞれの持つあらゆる広報媒体を活用して、タイムリーかつ効果的に広く発信 (知事、警察本部長、著名人等による「県民の行動変容」につながるメッセージの効果的な発信など)
2.	「滋賀県民 オール・トレイル作戦」	全ての県民を縦断・網羅する (トレイルする) 活動として、職員が県民と接するあらゆる通常業務・活動を通じて、「県民が被害に遭わないためのポイント」について注意喚起
3.	メディア、SNS を活用した対策の推進	・各種メディア、各種 SNS、県警公式防犯アプリ「ぼけっとポリスしが」等を活用した効果的な情報発信 ・ネット上の違法有害情報の発見と削除依頼対策 ・X イックス 利用者に対する警告メッセージの配信事業や各種 SNS に対する広告事業を展開
4.	自主防犯活動の強化	・各種ボランティア団体、自主防犯団体等の活動の自主的な防犯活動を促進 ・県民一人ひとりの防犯意識を高め、犯罪対処能力の向上、行動変容を促進
5.	相談体制の構築・整備	・いわゆる「闇バイト」等情報に対する相談受理体制の構築・整備、相談窓口の周知 ・適切な相談対応、保護措置の実施
II. トクリュウに打撃を与えるための対策		
1.	トクリュウの実態解明	徹底した情報収集と全国警察との情報共有により組織の実態を解明
2.	トクリュウの取締り	県民からの相談や情報提供を受けて、末端の検挙のみならず、首魁や中核的人物の取締りを行うための事件検挙を徹底し、組織の壊滅に向けた取締りを推進